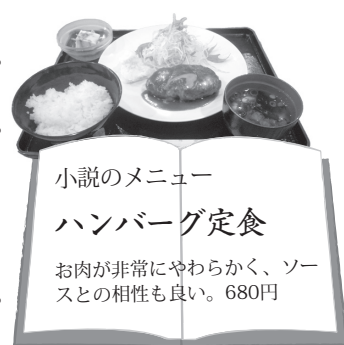


ケニア

北部構内の北側、御蔭通と東大路通交差点のすぐ東にある定食屋である。『太陽の塔』において、大学生の飾磨がここでしばしば夕食を取っている。実際にも学生の利用が多いお店だ。ポン酢からあげ定食（680円）や豚角煮定食（730円）といった、手ごろな価格の定食メニューが充実している。また夕方にはうれしいタイムサービスも。

営業時間：8:00～24:00
定休日：無休
電話番号：075-712-0832



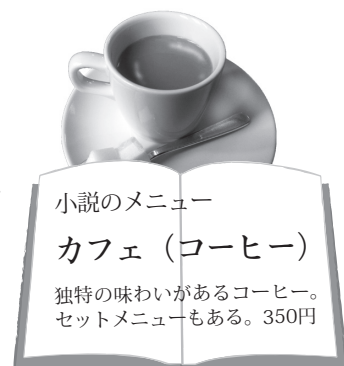
小説のメニュー
ハンバーグ定食
お肉が非常にやわらかく、ソースとの相性も良い。680円

——『太陽の塔』

進々堂京大正門前

百万遍の交差点から東に進んだところにある、京大生御用達の喫茶店。ここは、『夜は短し歩けよ乙女』のラストシーンに登場するお店である。重厚ながらもどこか暖かい雰囲気であり、小説で描かれている通りまるで別世界のように。おすすめは、主人公が飲んでいたカフェ（350円）。雰囲気を感じながら味わってほしい。

営業時間：8:00～18:00
定休日：火
電話番号：075-701-4121



小説のメニュー
カフェ（コーヒー）
独特の味わいがあるコーヒー。セットメニューもある。350円

——『夜は短し歩けよ乙女』

まどい

百万遍の南西、細い路地の先にある隠れ家のような洋食屋。『四畳半神話体系』に登場する。主人公が登場人物の明石さんに映画のテープを渡し、夕食を共にしたというシーンがある。落ち着いた雰囲気のレストランであり、セットメニュー（600～800円）など、手ごろな価格でかなりボリュームのある洋食が食べられるのも魅力。

営業時間：11:30～14:00、17:30～21:00
定休日：土・日・祝
電話番号：075-761-5690



おすすめメニュー
ミンチステーキまどい風
おいしさの秘訣は50年間変わらない味のソース。700円

——『四畳半神話体系』

夜は短し歩けよ京大生

京大出身作家、森見登美彦氏の小説より

SHOP情報局

小説に出てくるお店 特集

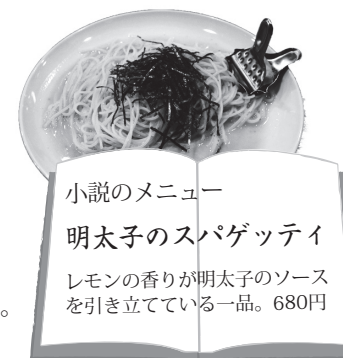
京大出身作家、森見登美彦氏の作品には、多くの京大周辺のお店が登場していることをご存じですか？今回はその中のいくつかを紹介します。（紅梅）



CAFE COLLECTION

今出川通沿い、北部構内の門から少し東に進んだところにある、四角錐形の看板が目印の喫茶店。『四畳半王国見聞録』で登場人物の芹名と芽野が話しながら夕飯を食べているお店だ。喫茶店ではあるがパスタやカレーといった夕食メニューも充実している。このオムライス（700円）は全サイズ同じ値段。お得な上にボリュームもある。

営業時間：11:00～22:00
定休日：無休
電話番号：075-722-0737



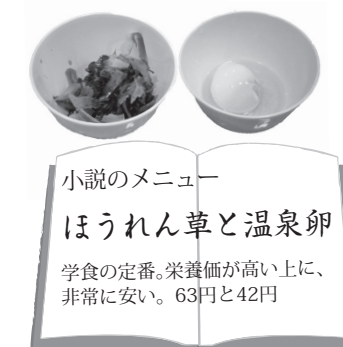
小説のメニュー
明太子のスパゲッティ
レモンの香りが明太子のソースを引き立てている一品。680円

——『四畳半王国見聞録』

中央食堂

みなさんおなじみ、総合研究8号館地下の中央食堂である。『夜は短し歩けよ乙女』の他にもさまざまな作品で登場しており、作中でも京大生に非常に身近な存在となっている。最近リニューアルオープンし、小説が書かれた当時とは内装が異なるが、学食の雰囲気は十分味わうことができる。ぜひ新しい中央食堂を訪れてみてほしい。

営業時間：8:00～21:00
定休日：土・日・祝
電話番号：075-753-7651



小説のメニュー
ほうれん草と温泉卵
学食の定番。栄養価が高い上に、非常に安い。63円と42円

——『夜は短し歩けよ乙女』

その他、作品中に登場するお店

- ・北白川の「ケンタッキーフライドチキン」（『太陽の塔』）
- ・北白川別当の交差点にある「ジュネス」（『新訳走れメロス 百物語』）

また、このお店がモデルではないかと推測できるものも。たとえば、『夜は短し歩けよ乙女』に登場する、「バー月面歩行」や「東大路沿いのスーパー」は、もしかして……。

森見さんの作品が好きな人はもちろん、初めて知ったという人も、ここで紹介したお店をぜひ訪れてみてくださいね。

はみだし
すてーじ

おなかすいた
⇒そんなあなた！ 上のお店でディナーなんてどうでしょう？

（エ・2 パナナ）
（どこもおすすめですよ；編）

はみだし
すてーじ

まあいいや
⇒まあまあ、そんなことおっしゃらないで。まずは腹ごしらえしましょうよ。

（文・2 ソウタロウ）
（今日はどこに行くのかな？；編）